

# 放課後子ども教室だよ

## わだ遊友クラブ訪問

令和2年12月16日(水)訪問

○開設年度	平成19年	○参加者	対象学年：1～2年生
○活動場所	本宮市白沢公民館和田分館	○登録スタッフ	登録児童数：16名
○実施回数	23回	○登録スタッフ	11名 ※安全管理員・活動指導員の兼務
○実施時間	4時間 水曜日 (12:30～16:30)	○活動内容	工作や折り紙などの造形活動 おはなし会 キンボール 季節行事等

### 寒くても たこあげに夢中です

今年度、わだ遊友クラブでは、16名の1～2年生が楽しく活動しています。

元小学校教員であるコーディネーターは、ご自身の得意分野である工作をプログラム内容に取り入れており、子どもたちに分かりやすく作り方を教えています。また、はさみ等の正しい使い方や走らないようにすることなど、みんなが安全に活動できる室内での過ごし方について、丁寧に伝えています。

スタッフは地元の方が多く、子どもたちの面倒をよく見てくださるとともに、清掃や消毒等の作業を率先して行ったださるそうです。

当日の活動は「たこ作り・たこあげ」でした。訪問した時には、ほとんどの子が作り終えていて、外の広場でたこあげをしているところでした。当日は雪交じりの風が吹く寒い日でしたが、子どもたちはたこあげに夢中になり、実に楽しそうでした。自分が描いたイラストのたこが空高く舞っている様子に大満足している子が大勢おり、「見て見て！」とスタッフに誇らしげに声をかけていました。

コロナ禍の中では、放課後に友達と遊ぶことが難しい状況にあります。遊びの道具を自分の手で作り、大勢の友達といっしょに楽しさを共有できるのは、放課後子ども教室のよさの一つです。



### 創意工夫することの 大切さを伝えます

わだ遊友クラブでは、先月は、紙玉でつぼうを作ったそうです。コーディネーターの遠藤さんは、「子どもたちは玉の入れ方や飛ばし方を試行錯誤しながら作っていましたが、こういう経験を大切にしていきたいと考えています。お金を出せば何でも手に入る時代ですが、自分で工夫することの大切さを伝えたいと考えています。」と話していました。

### コロナ禍における 活動のヒント

新型コロナウイルス感染症予防として、手洗い・うがい・手指消毒・マスクの着用、活動後のアルコール消毒を励行しています。

また、外で遊んだ後は、玄関で手指消毒をしてから室内に入るように指導しています。活動終了後にスタッフ総出でアルコール消毒を行い、テーブルや椅子、使用した用具を丹念に消毒しているそうです。わだ遊友クラブの子どもたちも、マスクをきちんと着用して活動する約束を守っています。

特に低学年の子どもたちは、無意識のうちに友達と接近して話しがちです。大人のように行動することが難しい子どもたちに、周囲の大人が根気強く声をかけ、その都度気づかせていくことで、子どもたちの感染症への意識を高めていくことが大切です。

